

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mailで gjjimu@tenmon.or.jp 宛、なお、原稿も必ず 0422-31-5487 迄 Fax でお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、
2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、
3. 専門分野、
4. 職務内容・担当科目、
5. (1) 着任時期、(2) 任期、
6. 応募資格、
7. 提出書類、
8. 応募締切・受付期間、
9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、
10. 応募上の注意、
11. その他（待遇など）

京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻教官公募

1. 助教授1名
2. (1) 物理学第二教室、天体核研究室
3. 天体核物理学
5. (1) 決定後なるべく早い時期
7. ○履歴書、○業績リスト、○主要論文別刷5編程度、○現在までの研究概要、○着任後の研究計画、○着任可能時期
8. 2000年4月14日(金)必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科物理学第二教室
主任 笹尾 登
(2) 同上 佐藤 文隆 電話 075-753-3831
sato@tap.scphys.kyoto-u.ac.jp
10. 封筒に「応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

国立天文台太陽物理学研究系助教授

1. 第92巻7号
2. 関井 隆（ケンブリッジ大学）
3. 2000年3月1日

茨城大学理学部自然機能科学科助手

1. 第92巻8号
2. 百瀬宗武（日本学術振興会特別研究員）
3. 2000年1月1日

研究会・集会案内

2000年天文学会春季年会・天文教育フォーラム開催について

21世紀には、日本の探査機が太陽系天体に迫ります。サンプルを実際に手にとって調査できる日も遠くありません。しかしながら、教育現場では、夜間観測の困難さなどもあって、画像の紹介やワークシートによる演習に頼らざるをえない実情があります。物理、化学、生物などの分野とくらべて、実験することは難しく、モデル実験器なども限られています。そこで、天文学の室内実験、教具、教材を広く紹介し、小さなアイデアで、児童・生徒・学生をワクワクさせることのできるような、『天文学の隠し芸』、『大道芸人大会』を催したいと考えています。

タイトル：「宇宙を教室の中へ」—天文学の室内実験—
概要：体で感じることのできる天文学実験、教具、教材など実演、展示。

実行委員：鈴木文二（埼玉県立三郷工業技術高校）
水野孝雄（東京学芸大学）
縣 秀彦（国立天文台）
山縣朋彦（文部省）

日程：天文学会年会第1日目、
4月3日(月)18:00～19:30を予定
会場：東京大学・理学部

ポスター会場の一部に、教材、教具を展示
天文教育フォーラムでの公開実験は、理学
部4号館の1220教室

申し込み：2月末日〆切

なお、実験、出品の申し込み、および問い合わせは、
鈴木文二 (suzukibn@cc.nao.ac.jp) まで、お願いします。

計算科学技術活用型特定研究開発推進事業 研究報告会 (ACT-JST) のお知らせ

主催：科学技術振興事業団

開催日時：平成12年3月9日(木) 9:30～17:00

開催場所：都市センターホテル

〒102-0093 東京都千代田区平河町

Tel.:03-3265-8211

内容：科学技術振興事業団では、計算科学技術を活用
した計算科学技術の進展に貢献する研究開発を進め
ています。このうち短期集中型（4分野で合計50
課題）は平成12年3月末で研究開発期間を終了し
ます。各課題の研究内容とこれまでに得られた成果
を公の場において発表する機会を設け、内容の告知
と活発なディスカッションを促進して研究者間の相
互理解及び交流を図り、またプロジェクトのまとめ
に役立つ目的で研究発表会を行います。

参加費：無料（レセプションは有料）

連絡先：(財)日本科学技術振興財団 振興部

電話：03-3212-2454 FAX: 03-3212-0014

E-mail: actjst@jsf.or.jp

URL : <http://ppd.jsf.or.jp/shinko/actjst/>

その他：研究開発分野 ①物質・材料分野、②生命・生
体分野、③環境・安全分野、④地球・宇宙観測分野
発表形態：口頭発表及びポスターセッション

基調講演：土居範久 慶應義塾大学教授

「計算科学技術への期待 理論・実験に次ぐ
第三の科学技術」

天文学講演会

「星と銀河はどのようにして生まれたのか

—南天に広がれ宇宙口マン7—

開催のお知らせ

南の天空には、観測されていない未知の天体がたく
さんうずもれています。名古屋大学大学院は、1996
年に南米チリのラスカンパナスに、電波望遠鏡「なん
てん」を建設しました。「なんてん」は、星が誕生し

ている現場を数多く発見し、新しい宇宙観を切り開き
つつあります。この講演会では、今注目を集めている
竜骨座のスーパーシェル、マゼラン銀河の巨大星団な
ど、「なんてん」のオリジナルな最新成果を、研究グ
ループの天文学者が分かりやすく解説します。詳しく
は下記の連絡先におたずねください。

〈名古屋会場〉

日 時：平成12年3月18日(土)

13：30開会 16：30閉会

会 場：名古屋市中区役所ホール（名古屋市中区・地
下鉄東山線「栄」下車5分 JR名古屋駅より所要
時間約20分）

申し込み方法：申し込み手続き不要です。直接会場ま
でお越しください。

〈東京会場〉

日 時：平成12年3月20日(月)

13：30開会 16：30閉会

会 場：科学技術館サイエンスホール（東京都千代田
区・地下鉄東西線「竹橋」下車7分 北の丸公園内
日本武道館手前）

申し込み方法：平成12年3月3日(金)（必着）までに
下記の連絡先まで名前、住所、電話番号を明記の上、
往復ハガキでご応募ください。おりにかえし、参加票
をお送りいたします。ただし、定員（400名）オー
バーの節は、先着順とさせていただきますのでご了
承ください。

〈両会場ともに〉

講 師：福井康雄（名古屋大学大学院教授）他

参加費：500円（ただし名古屋大学星の会会員、およ
び高校生以下は無料）

連絡先：〒464-8602 名古屋大学大学院理学研究科
天体物理学研究室

TEL: 052-789-2839 FAX: 052-782-3951

主 催：名古屋大学なんてん電波天文台

共同利用・共同研究

平成12年度共同研究等の公募について

国立天文台における平成12年度共同研究等の公募
を次のとおり行います。

1. 公募事項・内容

(1) 研究会・ワークショップ

国立天文台研究会及び同ワークショップ。（研究員
等旅費及び必要な場合校費（印刷費等）を支給）

(2) 共同研究

国立天文台の教官と天文台外の研究者により特定の研究課題について共同で行われる研究。(研究員等旅費を支給)

本研究は、研究の形態により以下の3つに区分して募集します。

(研究区分)

- ①少人数型：少人数・短期の場合
- ②長期単独型：台外研究者が1人で、1週間以上滞在する場合
- ③多人数型：台外研究者が4人以上の、目的を明確にした共同研究の場合

(3) 共同開発研究

共同利用観測・共同利用実験に関わる新しい装置等の開発・製作、また、より基礎的開発研究についての共同研究。(校費を主とし、必要な場合研究員等旅費を支給)

本研究は天文観測所のために有効な機器等(ソフトウェアも含みうる)の開発研究を促進することを目的とし、開発研究としての意義、共同利用への有用性、大学など各機関における研究への寄与等を重要視して審査します。なお、本研究については、採否を決定するに当たって、ヒアリングを行うことがあるので、ご承知下さい。

- 2. 申込資格：国・公・私立大学及び国・公立研究所等の研究者又はこれに準ずる者。(大学院在学中の者は指導教官と連名で申し込んでください)
- 3. 申込方法：所定の様式による申込書1部を提出してください。

なお、研究の内容、経費等については、本天文台の担当教官とあらかじめ打ち合わせてください。(担当教官が不明な方は、小林研究交流委員会委員長(TEL:0422-34-3865)に相談してください。)

- 4. 申込締切日：平成12年3月31日(金)期限厳守
- 5. 選考：応募研究課題の採否及び経費配分は、国立天文台研究交流委員会で審査し、運営協議委員会の議を経て、台長が決定します。

なお、共同開発研究で研究期間が年度をこえるものについては、申請書にその旨記載のうえ、次年度にあらためて新規公募手続に従って申込書を提出してください。

- 6. 採択通知：採否の決定は、平成12年5月(予定)に行われ、結果を各申請者に通知します。
- 7. 所要経費：予算の範囲内において本天文台で支出します。
- 8. 施設等の利用：諸施設の利用については、天文台規則を遵守し、責任者の指示に従ってください。
- 9. 研究報告：研究終了後、30日以内に所定の様式による報告書を1部台長あて提出して

ください。

なお、提出された報告書は、本天文台の広報誌等に掲載することがあります。

10. 申込書提出先及び問合せ先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台管理部庶務課共同利用係

TEL 0422-34-3660 / 3661

会務案内

正会員各位

社団法人日本天文学会 理事長 尾崎洋二

2000年度春季総会開催のお知らせ

一同封の返信用葉書で3月31日(金)までに到着するようご投票を！

下記の通り2000年度春季総会を開催いたしますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。

総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の5分の1以上の出席が必要です(定款第42条)。欠席される場合には、下記の議案および説明をよくお読みの上、次の(1)または(2)のどちらかの対応をして下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

(1) 綴じ込みの総会返信用葉書(以下「葉書」と呼ぶ)を用いて賛否の意志を表明する。

(2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。「葉書」は、3月31日(金)までに天文学会事務室に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。なお、下記の「投票および委任状の書き方」を参照して下さい。

2000年度春季総会

日時：2000年4月4日(火)16時30分～18時00分

場所：理4号館B会場

議案の内容と説明

第1号議案 1999年度事業報告

天文月報2000年3月号167～169ページ参照

第2号議案 1999年度収支決算報告、監査報告

天文月報2000年3月号170～174ページ参照

第3号議案 新評議員候補者

天文月報2000年3月号174ページ参照

「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出して下さい。(委任状にはとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案につ

いて「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務室宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えません。

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票。
- 5) 2重投票

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“会長”または“議長”と書かれたもの。

[第1号議案]

社団法人 日本天文学会 1999 年度 事業報告書

1999 年度は、本会創立 92 年、社団法人設立後 66 年にあたる。

ア) 出版物の刊行

- 1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan) : 第 51 巻 1 号～6 号, 論文数 103, 総頁数 995, 偶数 25 日発行
- 2) 天文月報 : 第 92 巻 1 号～92 巻 12 号, 総頁数 650, 毎月 20 日発行
- 3) 年会予稿集 : 1999 年春・秋季年会の 2 回発行, 総頁数 608

イ) 年会の開催

- 1) 1999 年春季年会

◇ 記者会見 : 3 月 24 日(水) 京都大学人間環境学
研究科

年会講演から 4 トピックスを選び、10 報道機関
と会見し資料を提供した。

◇ 年会 : 3 月 25 日(木)～3 月 27 日(土)

京都大学総合人間学部の 6 会場

◇ 参加者 : 710 名 (うち学生 265 名)

◇ 講演数 : 447 (口頭 294, 口頭+ポスター 153,

ポストデッドライン 1)

- ◇ 懇親会 : 参加者 220 名 (うち学生 79 名)
- ◇ 天文教育フォーラム : 「どれだけできる? 恒星
についての内容—新学習指導要領による小・
中・高等学校の天文教育—」参加者 82 名
- ◇ 公開講演会 : 3 月 28 日(日) 京都都会館会議場
参加者 : 120 名
ガンマ線で探す巨大粒子加速器
(東京工業大学助教授, 谷森 達)
宇宙背景放射—宇宙の秘密に迫る—
(京都大学助教授, 杉山 直)
- ◇ 保育室 : のべ 5 人の利用者
- 2) 1999 年秋季年会
- ◇ 記者会見 :
10 月 6 日(水) 九州大学六本松キャンパス新 1
号館 N 123 教室
年会講演から 3 トピックスを選び、5 報道機関
と会見し資料を提供した。
- ◇ 年会 :
10 月 7 日(木)～10 月 9 日(土) 九州大学六本松
キャンパスの 8 会場
- ◇ 参加者 : 678 名 (うち学生 309 名)
- ◇ 講演数 : 509 (口頭 : 309, 口頭+ポスター :
200, ポストデッドライン : 1)
- ◇ 特別講演会 : 10 月 7 日(木) 16 時～16 時 40 分
「ガンマ線バースト観測の最近の進展」
村上敏夫 (宇宙科学研究所助教授) 聴衆 150 名
- ◇ 招待講演 : 10 月 8 日(金)16 時～16 時 50 分
「20 世紀初め韓国で活躍した二人の先駆者 (和田
雄治と W. Carl Rufus の例)」
羅 逸星 (羅 逸星天文館, 元韓国宇宙科学学会
会長) 聴衆 150 名
- ◇ 懇親会 : 参加者 250 名 (うち学生 100 名)
- ◇ 天文教育フォーラム :
10 月 7 日(木) 16 時 45 分～18 時 45 分
「古くて新しい問題 : OD 問題の現状—天文学会
研究者人口調査から見えてくるもの—」
沢 武文 (愛知教育大学) の「研究者の人口調査
報告」, 今井 裕 (国立天文台), 観山正見 (国立
天文台), 池内 了 (名古屋大学) の 3 氏による
若手, 教官, 学術会議というそれぞれの立場か
ら話題提供した。参加者 200 名
- ◇ 公開講演会 : 10 月 10 日(日)
九州大学六本松キャンパス N 110 教室
参加者 110 名
「古墳の中の宇宙—キトラ天文図と中国の宇宙観—」
(同志社大学助教授, 宮島一彦)
「現代宇宙論の概観」(名古屋大学教授, 池内 了)
- ◇ 保育室 : のべ 16 人の利用者

ウ) 総会

1) 1999 年春季総会

1999 年 3 月 26 日(金)

京都大学総合人間学部 E30 番教室

各賞の授与式

★ 天体発見賞

1998 年度天体発見賞選考委員会の選考を経て、評議員会で以下の 1 件 1 名に天体発見賞が贈呈されることが決定された。今年度は天体発見功労賞の該当者はなかった。

高見沢今朝雄氏：へびつかい座新星 (Nova Ophiuchi 1998) を発見

★ 研究奨励賞

1998 年度研究奨励賞候補者の推薦 8 件に対して、研究奨励賞選考委員会の選考を経て、評議員会で以下の 2 名に賞が贈呈されることが決定された。

大橋永芳氏：動的降着エンベロープの系統的研究
横山央明氏：太陽 X 線ジェットとフレアの電磁流体数値シミュレーション研究

★ 林忠四郎賞

1998 年度林忠四郎賞候補者の推薦 2 件に対して、林忠四郎賞選考委員会の選考を経て、評議員会で以下の方に賞が贈呈されることが決定された。

小山勝二氏：銀河系内超高温プラズマおよび原始星からの X 線放射の発見

★ 欧文報告論文賞

1998 年度欧文報告論文賞候補者の推薦 7 件に対して、林忠四郎賞選考委員会の選考を経て、評議員会で以下の論文に賞が贈呈されることが決定された。

論文名：The Gas Imaging Spectrometer on Board ASCA (Publ. Astron. Soc. Japan, vol. 48, 1996, pp. 157-170.)

共著者：大橋隆哉，海老沢 研，深沢泰司，日吉健司，堀井通宏，渡辺 靖，池田 斉，井上 一，石田学，石崎欣尚，石塚敏夫，上条俊介，金田英宏，香村芳樹，牧島一夫，三原建弘，田代 信，村上敏夫，庄村利一郎，田中靖郎，上田佳宏，田口孝治，鶴剛，竹島敏明 以上 24 名

- 議題：1. 1998 年度事業報告
2. 1998 年度収支決算報告・監査報告
3. PASJ について
4. その他

2) 1999 年度秋季総会

1999 年 10 月 8 日(金)九州大学六本松キャンパス 新 1 号館 N110 教室

- 議題：1. 2000 年度事業計画案
2. 2000 年度収支予算案
3. その他

エ) 評議員会および理事会

〈評議員会〉

1999 年 1 月 23 日(土) 国立天文台 講義室 (三鷹)

議長：小杉健郎氏

- 議題：1. 各賞の受賞者の決定
天体発見賞 1 名，天体発見功労賞の該当者はなし。
林忠四郎賞 1 名，欧文報告論文賞候補者 1 件 24 名 (共著)
研究奨励賞 2 名
2. 1998 年度日本天文学会事業報告
3. 1998 年度日本天文学会収支決算報告・監査報告
4. その他

1999 年 3 月 26 日(金) 京都大学人間環境学研究所 会議室 1

議長：福島登志夫氏

- 議題：1. 1999 年春季総会について
2. 1997 年，1998 年分の会費未納者の除名
3. その他

1999 年 7 月 17 日(土) 国立天文台 講義室 (三鷹)

議長：長谷川哲夫氏

- 議題：1. 2000 年度事業計画案
2. 2000 年度収支予算案
3. 定款の内規の改訂案
4. 会費未納者の除名
5. その他

1999 年 10 月 8 日(金)九州大学六本松キャンパス 新 1 号館 会議室 1

議長：岡村定矩氏

- 議題：1. 1999 年日本天文学会秋季総会について
2. 各委員会の内規改定および制定案
3. 2000 年春季年会のジュニアセッションについて
4. その他 (独立行政法人化に対する意見表明について)

〈理事会〉

1999 年 1 月 15 日(金) 国立天文台 講義室 (三鷹) 新旧合同理事会

- 議題：1. 1998 年度事業報告
2. 1998 年収支決算報告・監査報告
3. 春季年会・公開講演会・総会について
4. 新入正会員の承認
5. 記者会見の運営方式について
6. 引継事項
7. その他

1999 年 3 月 27 日(土) 京都大学人間環境学研究所 会議室 1

- 議題：1. 春季年会の報告
2. 新入正会員の承認
3. 1999 年秋季年会以降の開催地

- 4. 定款の内規の改訂について
- 5. その他

1999年7月10日(土) 国立天文台 会議室 (三鷹)

- 議題：1. 2000年度事業計画案
 2. 2000年度収支予算案
 3. 新入正会員の承認
 4. 秋季年会・総会について
 5. 秋季年会時の特別および招待講演会
 6. 2000年以降の年会開催地
 7. 定款の付則・内規の変更
 8. P A S Jの電子化
 9. その他(学会事務室の移転)

1999年10月9日(土)九州大学六本松キャンパス
 新1号館 会議室1

- 議題：1. 秋季年会の報告
 2. 新入正会員の承認
 3. 各委員会の内規の改訂・制定について
 4. 2000年春季年会のジュニアセッションについて
 5. その他

オ) 委員会, 国際会議, 選挙, その他

1) 委員会関係

◇研究奨励賞選考委員会：

1999年度の研究奨励賞の受賞候補者を推薦して頂き、8件7名の推薦があり、この中より受賞候補者1名を選考した。

◇林 忠二郎賞選考委員会：

1999年度の林 忠二郎賞と欧文報告論文賞の受賞候補者を推薦して頂き、林 忠二郎賞の候補に推薦された4名より受賞候補者1名を選考した。また、欧文報告論文賞については推薦された1件より受賞候補1件を選考した。

◇天体発見賞選考委員会：

1999年度の天体発見賞の選考を行い、天体発見賞候補者5名、天体発見功労賞候補者1名を選考した。

◇内地留学奨学金選考委員会：

2000年度の内地留学奨学金の留学生を募集し、応募者3名より2名を選考した。

◇早川幸男基金選考委員会：

若手天文学研究者の海外学術研究渡航旅費補助の応募者33名のうちの17名に2,233,500円を援助した。佐藤明達氏より当基金へ300万円の寄付を頂きました。

IAU 京都総会記念基金：第23回京都 IAU 総会運営委員会からの寄付金643万円を創設基金として設立され、本年は2件の申請があり、早川幸男基金選考委員会がこれにあたり、国際会議名：「Heating and Acceleration in the Universe」に473,200

円(旅費補助者4人、組織委員長井上 一氏)、国際会議名：「Star Formation 1999」に100万円(旅費補助者9人、組織委員長花輪知幸氏)に旅費補助した。現在、残金は500万円である。

◇学术交流費：

賛助会員会費で若手研究者の研究成果の発表者に対して、年会旅費補助を行う。1999年度の年会は、京都大学と九州大学に於いて開催され、補助者139名に1,968,200円の旅費補助がされた。

◇文部省より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費」：研究成果発表(B)に対して、650,000円が交付された。

◇日本学術振興会より、科学研究費補助金「研究成果公開促進費」：(学術定期刊行物)3,800,000円と同：(定期的に刊行する二次刊行物：PASJのGeneral Index)1,940,000円が交付された。

◇三菱財団自然科学研究助成に申請された、東京大学大学院理学系研究科助教授川良公明氏の「赤方偏移が5を越えるクエーサーの探索」に900万円が交付された。

2) 国際会議

◇国際・国内シンポジウムの協賛7件、後援3件、共催3件、および国立天文台一般公開、すばる望遠鏡完成式の後援を行なった。

3) 選挙

◇1. 2000年度科学研究費補助金審査委員候補者の選挙を行った(7月)

◇2. 2000年~2002年度の日本学術会議会員候補者の選挙を行った(11~12月)

◇3. 2000年~2003年度の評議員候補者の選挙を行った(11~12月)
 (2, 3の選挙結果は天文月報2000年2月号に掲載してあります)

会員数

2000年1月1日現在の会員数は以下の通りである。

	正会員(学生会員)	準会員	団体会員	賛助会員	合計
'99.1.1	1,324(266)	1,425	42	47	2,838
入会	107	30	2	1	140
退会	41	58	3	2	104
移籍(増)	7	10	0	0	17
移籍(減)	10	7	0	0	17
'00.1.1	1,387(287)	1,400	41	46	2,874

(注：移籍とは正会員、準会員と団体会員の間の移動のことを指す。)

[第2号議案]

社団法人 日本天文学会
1999年度 収支計算書

(1999年1月1日～1999年12月31日)

【一般会計】

収入の部

(単位：円)

勘定科目 大・中・小科目	予 算 額	決 算 額
基本財産運用収入	90,000	49,415
基本財産利息収入	90,000	49,415
会 費 収 入	33,630,000	34,805,900
正会員会費収入	18,720,000	19,244,400
学生会員会費収入	3,120,000	4,059,500
準会員会費収入	11,360,000	11,072,000
団体会員会費収入	430,000	430,000
事業収入	15,620,000	24,598,064
欧文研究報告発行事業収入	5,500,000	12,778,084
購 読 料	0	4,696,345
掲 載 料	4,200,000	5,959,059
別 刷 代	1,300,000	2,122,680
天文月報発行事業収入	4,760,000	4,805,893
購 読 料	840,000	867,525
別 刷 代	520,000	723,993
広 告 料	3,400,000	3,214,375
年会事業収入	5,360,000	7,014,087
予稿集頒布収入	2,000,000	2,849,160
参加費	3,160,000	3,921,000
雑収入	200,000	243,927
補助金等収入	7,700,000	6,390,000
刊行物補助金収入	6,900,000	5,740,000
公開講演会補助金収入	800,000	650,000
寄付金収入	10,000	40,000
寄付金収入	10,000	40,000
印 税 収 入	1,900,000	3,210,305
星座早見印税収入	1,700,000	2,037,000
その他の印税収入	200,000	1,173,305
雑 収 入	950,000	1,434,789
受 取 利 息	50,000	74,390
特別企画収入	100,000	458,510
その他の収入	800,000	901,889
当期収入合計(A)	59,900,000	70,528,473
前期繰越収支差額	20,215,789	27,014,478
収入合計(B)	80,115,789	97,542,951

支出の部

勘定科目 大・中・小科目	予 算 額	決 算 額
事業費	46,500,000	54,844,858
欧文研究報告発行事業費	19,300,000	30,694,382
直接出版費	9,800,000	18,981,561
別刷印刷費	0	1,009,593
人 件 費	6,300,000	5,453,690
謝 金	0	1,037,400
送 料 運 搬 費	650,000	1,612,607
消 耗 品 費	100,000	168,040
雑 費	50,000	31,491
別 冊 総 索 引	2,400,000	2,400,000
天文月報発行事業費	19,270,000	16,951,204
直接出版費	11,400,000	9,907,014
別刷印刷費	420,000	589,050
人 件 費	1,030,000	1,029,292
謝 金	2,690,000	2,002,653
送 料 運 搬 費	2,820,000	3,108,186
消 耗 品 費	560,000	313,509
雑 費	350,000	1,500
年会事業費	7,930,000	7,199,272
予稿集印刷費	2,400,000	2,308,320
謝 金	1,100,000	860,750
送 料 運 搬 費	1,200,000	289,839
消 耗 品 費	1,200,000	1,180,348
会 場 費	600,000	280,436
人 件 費	1,030,000	1,199,702
雑 費	400,000	1,079,877
管 理 費	23,780,000	23,507,668
人 件 費	7,900,000	7,881,397
謝 金	300,000	556,100
会 費	200,000	181,303
負 担 金	170,000	143,000
旅 費	1,300,000	1,608,810
送 料	2,300,000	846,525
什 器 備 品 費	800,000	1,999,599
消 耗 品 費	800,000	1,097,074
印 刷 製 本 料 費	800,000	706,072
光 熱 水 料 費	250,000	209,013
賃 借 料	1,500,000	1,942,587
保 険 料	100,000	159,196
諸 手 数 料	200,000	194,830
修 繕 費	500,000	59,640
書 籍 購 入 費	500,000	405,420
特 別 企 画 調 製 費	150,000	574,035
雑 費	250,000	449,067
退 職 金 支 出	250,000	17,000
内 地 留 学 奨 学 支 出	4,310,000	4,310,000
そ の 他 繰 入 金 支 出	0	5,000
有 価 証 券 購 入 支 出	1,200,000	0
徴 収 不 能 額	0	162,000
特 定 預 金 支 出	690,000	688,500
退 職 給 与 引 当 預 金 支 出	190,000	188,500
減 価 償 却 引 当 預 金 支 出	500,000	500,000
予 備 費	9,145,789	—
当期支出合計(C)	80,115,789	79,041,026
当期収支差額(A-C)	△20,215,789	△8,512,553
次期繰越収支差額(B-C)	0	18,501,925

【特別会計】 収支計算の部 (単位：円)
(1999年1月1日～1999年12月31日)

会計種目	科目	予算額	決算額	
学術 交流費	収入の部			
	賛助会員会費収入	1,800,000	1,710,000	
	受取利息	5,000	5,000	
	当期収入合計(A)	1,805,000	1,715,000	
	前期繰越収支差額	1,606,837	1,654,252	
	収入合計(B)	3,411,837	3,369,252	
	支出の部			
	学術交流費	2,000,000	1,968,200	
	雑費	3,000	3,337	
	当期支出合計(C)	2,003,000	1,971,537	
	当期収支差額(A)-(C)	△198,000	△256,537	
	次期繰越収支差額(B)-(C)	1,408,837	1,397,715	
	内地留学 奨学金	収入の部		
		受取利息	15,000	28,151
一般より繰入金収入		4,310,000	4,310,000	
当期収入合計(A)		4,325,000	4,338,151	
前期繰越収支差額		91,925	78,125	
収入合計(B)		4,416,925	4,416,276	
支出の部				
奨学金支出		250,000	0	
雑費		3,000	0	
旅費補助支出		50,000	0	
当期支出合計(C)		303,000	0	
当期収支差額(A)-(C)		4,022,000	4,338,151	
次期繰越収支差額(B)-(C)		4,113,925	4,416,276	
研究 奨励賞		収入の部		
	寄付金収入	100,000	444,000	
	受取利息	20,000	53,174	
	当期収入合計(A)	120,000	497,174	
	前期繰越収支差額	5,501,454	5,543,891	
	収入合計(B)	5,621,454	6,041,065	
	支出の部			
	研究奨励賞支出	100,000	200,000	
	雑費	0	85,948	
	旅費補助支出	50,000	17,500	
	当期支出合計(C)	150,000	303,448	
	当期収支差額(A)-(C)	30,000	193,726	
	次期繰越収支差額(B)-(C)	5,471,454	5,737,617	

会計種目	科目	予算額	決算額	
早川幸男 基金	収入の部			
	寄付金収入	500,000	3,000,000	
	受取利息	65,000	88,823	
	当期収入合計(A)	565,000	3,088,823	
	前期繰越収支差額	18,378,987	21,053,478	
	収入合計(B)	18,943,987	24,142,301	
	支出の部			
	研究補助支出	2,000,000	2,233,500	
	雑費	10,000	5,822	
	当期支出合計(C)	2,010,000	2,239,322	
	当期収支差額(A)-(C)	△1,445,000	849,501	
	次期繰越収支差額(B)-(C)	16,933,987	21,902,979	
	林 忠四郎賞	収入の部		
		受取利息	60,000	59,852
当期収入合計(A)		60,000	59,852	
前期繰越収支差額		16,435,149	16,651,234	
収入合計(B)		16,495,149	16,711,086	
支出の部				
林賞支出		200,000	200,000	
雑費		20,000	14,000	
旅費補助支出		100,000	0	
当期支出合計(C)		320,000	214,000	
当期収支差額(A)-(C)		△260,000	△154,148	
次期繰越収支差額(B)-(C)		16,175,149	16,497,086	
IAU 記念基金		収入の部		
		受取利息	20,000	29,543
	当期収入合計(A)	20,000	29,543	
	前期繰越収支差額	6,432,752	6,453,232	
	収入合計(B)	6,452,752	6,482,775	
	支出の部			
	雑費	100,000	4,480	
	旅費補助支出	1,000,000	1,473,200	
	当期支出合計(C)	1,100,000	1,477,680	
	当期収支差額(A)-(C)	△1,080,000	△1,448,137	
	次期繰越収支差額(B)-(C)	5,352,752	5,005,095	

社団法人 日本天文学会
1999 年度 貸借対照表
1999 年 12 月 31 日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
大科目・中科目		大科目・中科目	

【一般会計】

流動資産		流動負債	
現金預金	15,001,418	未払金	6,723,815
未収会費	4,582,000	前受金	23,000
貯蔵品	1,796,822	前受会費	576,000
有価証券	5,700,000		
未収入金	541,322		
流動資産合計	27,621,562	流動負債合計	7,322,815
固定資産		固定負債	
基本財産		退職給与引当金	712,691
投資有価証券(基本金)	12,310,000	固定負債合計	712,691
基本財産合計	12,310,000	負債合計	8,035,506
その他固定資産		正味財産	42,259,086
什器備品	4,935,899	(うち基本金)	(12,310,000)
投資有価証券	1,200,000	(うち当期正味財産減少額)	(2,842,471)
退職給与引当預金	712,691		
減価償却引当預金	3,514,440		
その他固定資産合計	10,363,030		
固定資産合計	22,673,030	負債及び正味財産合計	50,294,592
資産合計	50,294,592		

【学術交流費】

流動資産		正味財産	1,397,715
現金預金	1,217,715	(うち当期正味財産減少額)	(256,537)
未収会費	180,000		
流動資産合計	1,397,715	負債及び正味財産合計	1,397,715
資産合計	1,397,715		

【内地留学奨学金】

流動資産		正味財産	4,416,276
現金預金	716,276	(うち当期正味財産増加額)	(28,151)
有価証券	3,700,000		
流動資産合計	4,416,276	負債及び正味財産合計	4,416,276
資産合計	4,416,276		

【研究奨励賞】

流動資産		正味財産	5,737,617
現金預金	5,737,617	(うち当期正味財産増加額)	(193,726)
流動資産合計	5,737,617	負債及び正味財産合計	5,737,617
資産合計	5,737,617		

資産の部	
勘定科目	金額
大科目・中科目	

【早川幸男基金】

流動資産		
現金預金	2,902,979	
有価証券	19,000,000	
流動資産合計		21,902,979
資産合計		21,902,979

【林 忠四郎賞】

流動資産		
現金預金	997,086	
有価証券	15,500,000	
流動資産合計		16,497,086
資産合計		16,497,086

【IAU 記念基金】

流動資産		
現金預金	1,005,095	
有価証券	4,000,000	
流動資産合計		5,005,095
資産合計		5,005,095

負債及び正味財産の部	
勘定科目	金額
大科目・中科目	

正味財産 (うち当期正味財産増加額)		21,902,979 (849,501)
負債及び正味財産合計		21,902,979

正味財産 (うち当期正味財産減少額)		16,497,086 (154,148)
負債及び正味財産合計		16,497,086

正味財産 (うち当期正味財産減少額)		5,005,095 (1,448,137)
負債及び正味財産合計		5,005,095

社団法人 日本天文学会
 1999年度 一般会計 正味財産増減計算書
 (1999年1月1日～1999年12月31日)
 (単位：円)

勘定科目	決算額
大科目・中科目	
増加の部	
資産増加額	
什器備品増加額	1,647,660
貯藏品増加額	276,803
投資証券移管	4,310,000
退職給与引当預金増加額	189,732
減価償却引当預金増加額	505,533
負債減少額	0
増加額合計	6,929,728
減少の部	
資産減少額	
当期収支差額	8,512,553
什器備品償却額	1,069,914
負債増加額	
退職給与引当金繰入額	189,732
減少額合計	9,772,199
当期正味財産減少額	2,842,471
前期繰越正味財産額	45,101,557
期末正味財産合計額	42,259,086

監査報告書

1999年度事業報告書、収支計算書及び財産目録等について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令および定款に照らして正当であることを認めます。

2000年1月18日 社団法人日本天文学会
 監事 杉本大一郎 印
 監事 唐牛 宏 印

社団法人 日本天文学会
財 産 目 録

1999年度 (平成 11年 12月 31日現在)

[全会計合算]

(単位：円)

資 産 の 部		
勘 定 科 目		金 額
大科目・中科目		
1. 流動資産		
1) 現金		500,540
2) 振替貯金		1,962,026
3) 定額貯金		4,702,000
4) 郵便貯金		922,714
5) 普通預金	住友信託銀行吉祥寺支店	3,046,966
	東京三菱銀行三鷹支店	1,654,211
	東京三菱銀行武蔵境支店	4,751,574
6) 定期預金	東京三菱銀行武蔵境支店	10,038,155
7) 貸付信託	住友信託銀行吉祥寺支店	47,900,000
8) 未収会費		4,762,000
9) 未収金		541,322
10) 貯蔵品	欧文報告バックナンバー	1,217,336
11)	星座早見	34,880
	月報用ファイル	180,950
	ビデオシリーズ	49,188
	CD-ROM	86,258
	絵はがき, カラー写真	228,210
2. 固定資産		
1) 什器備品		4,935,899
2) 投資有価証券	住友信託銀行吉祥寺支店	13,510,000
3) 退職給与引当預金	住友信託銀行吉祥寺支店	712,691
4) 減価償却引当預金	住友信託銀行吉祥寺支店	3,514,440
資 産 合 計		105,251,360
負 債 の 部		
勘 定 科 目		金 額
大科目・中科目		
1. 流動負債		
1) 未払金		6,723,815
2) 前受金		23,000
3) 前受会費		576,000
2. 固定負債		
1) 退職給与引当金		712,691
負 債 合 計		8,035,506
正 味 財 産		97,215,854

[第3号議案]

第 13 期日本天文学会評議員候補者
名簿 (任期：2000年～2003年)

評議員選挙施行細則に基づき、評議員選挙委員会は、1999年11月13日から1999年12月12日までを投票期間として選挙を行い、12月13日に開票作業を行い、以下の結果を得ましたので報告します。

評議員候補者名 15名

(アイウエオ順、※印は現評議員)

- | | |
|--------|---------|
| ※ 家 正則 | ※ 谷口義明 |
| ※ 池内 了 | 中村卓史 |
| 石黒正人 | 野本憲一 |
| 木下大輔 | ※ 長谷川哲夫 |
| ※ 小杉健郎 | 林 正彦 |
| ※ 佐藤勝彦 | ※ 松田卓也 |
| 佐藤修二 | 渡部潤一 |
| 高津裕通 | |

訂 正

天文月報93巻2号の109ページに誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

- 誤) 当選者以外の当選者名(15名)と得票数
- 正) 当選者名(15名)と得票数
- 誤) 上位得票者(20票以上)
- 正) 当選者以外の上位得票者(20票以上)

編集委員会より

今回より、年会プログラムの編集作業が、天文月報の編集と独立し、年会事務局の方で行われる事となりました。

編集委員 上野宗孝(編集長), 大橋正健, 小野智子, 斎藤芳隆, 田村元秀, 土橋一仁, 内藤統也, 和田桂一
 平成12年2月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
 定価700円(本体667円) 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 TEL: 0422-31-1359(事務室) / 0422-31-5488(月報・欧文編集) FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のホームページ <http://www.tenmon.or.jp/> 月報編集 e-mail: gjjimu@tenmon.or.jp